

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	株式会社広部不動産鑑定	
松川村(県)-1	長野県	長野第2	氏名	不動産鑑定士	広部 統行
鑑定評価額	6,160,000 円		1㎡当たりの価格	13,000 円/㎡	

## 1 基本的事項

(1)価格時点	令和4年7月1日	(4)鑑定評価日	令和4年7月10日	(6)路線価 [令和4年1月] 路線価又は倍率 倍率種別	円/㎡
(2)実地調査日	令和4年6月15日	(5)価格の種類	正常価格		1.1倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価				

## 2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等	北安曇郡松川村字東松川5721番1630				地積 (㎡)	474	法令上の規制等				
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況	接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況		(都) (60, 200)				
	1:1.5	住宅W2	低層一般住宅の建ち並ぶ区画整然とした住宅地域	東6.6m村道	水道、下水	信濃松川駅 1.3km	(その他)					
(2) 近隣地域	範囲	東 50 m、西 50 m、南 100 m、北 30 m			標準的使用	低層住宅地						
	標準的画地の形状等	間口 約 18 m、奥行 約 25 m、規模 450 ㎡程度、形状 長方形										
	地域的特性	特記事項	特にない	街路	基準方位北 6.6m村道	交通施設	信濃松川駅 北東方1.3km	法令	(都) (60, 200)			
	地域要因の将来予測	中規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域。村独自の積極的な移住支援策を背景に村内人口は微減、世帯数は増加傾向にあり、潜在的な住宅需要が存する。地価は今後、横這い又は若干の上昇に転じるものと予測。										
(3) 最有効使用の判定	低層住宅地				(4)対象基準地の個別的要因	方位 +2.0						
(5) 鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格	13,000 円/㎡									
	収益還元法	収益価格	/ 円/㎡									
	原価法	積算価格	/ 円/㎡									
	開発法	開発法による価格	/ 円/㎡									
(6) 市場の特性	同一需給圏は松川村、池田町、安曇野市北部郊外の住宅地域。需要者の中心は松川村又は近隣市町村居住の一次取得者。需給動向は村で新たに分譲された住宅分譲が完売したほか、村内世帯数は増加傾向にあり住宅需要は安定して推移、需給は引き締まっている。需給の中心となる価格帯は、400㎡規模で土地500万円前後、新築の戸建物件で3,000万円程度が標準的。											
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	近隣地域は一般住宅を中心とした既成住宅地域である。取引は自用目的が中心であり賃貸需要が見込めないことから収益価格は試算しなかった。一方で比準価格は同一需給圏内から事例の収集を行い、比準の過程も適切であるため市場性を直接反映した実証的な価格で規範性は高い。したがって本件では市場の実態を反映した比準価格を採用し、指定基準地の価格との均衡に留意して、鑑定評価額を上記のとおり決定した。											
(8) 公示価格	代表標準地	標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格 (円/㎡)	内訳	標準化補正	街路交通環境画地行政その他	地域要因	街路交通環境行政その他
	標準地番号	公示価格	[ ]	100	100	[ ]	100					
(9) 指定からの検討	指定基準地番号	池田(県)-1	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の比準価格 (円/㎡)	内訳	標準化補正	街路交通環境画地行政その他	地域要因	街路交通環境行政その他
	前年指定基準地の価格	13,300 円/㎡	[ 100.0 ]	100	100	[ 102.0 ]	12,900			0.0 0.0 0.0 +4.0 0.0 0.0		0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
(10) 対象基準地の前	-1 対象基準地の検討			価格変動状況 形成要因	[ 一般的 ] 村の人口動向は減少傾向にあるが、一方で世帯数の動向は上昇傾向にある。高齢化率は比較的 low、潜在的な住宅需要が認められる。							
	継続 新規 前年標準価格 12,900 円/㎡				[ 地域 ] 特段の変動要因はない。							
	-2 基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討				[ 個別的 ] 個別的要因に変動はない。							
	代表標準地	標準地	公示価格	円/㎡								
	変動率	年間	+0.8 %	半年間	%							

鑑定評価書 (令和4年地価調査)

Table with 5 columns: 基準地番号, 提出先, 所属分科会名, 業者名, 株式会社広部不動産鑑定. Includes 松川村(県)5-1, 長野県, 長野第2, 氏名, 不動産鑑定士, 広部 紘行.

1 基本的事項

Table with 6 columns: (1)価格時点, (2)実地調査日, (3)鑑定評価の条件, (4)鑑定評価日, (5)価格の種類, (6)路線価, [令和4年1月] 路線価又は倍率, 倍率種別, 円/m², 1.1倍.

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

Main evaluation table with 10 rows. (1) 所在地及び地番並びに「住居表示」等: 北安曇郡松川村字東川原5723番29外3筆. (2) 範囲: 東200m, 西250m, 南35m, 北40m. (3) 最有効使用の判定: 低層店舗事務所併用地. (4) 対象基準地の個別的要因: ない. (5) 鑑定評価の手法の適用: 取引事例比較法, 比準価格 19,700 円/m². (6) 市場の特性: 同一需給圏は松川村、池田町、大町市、安曇野市北部郊外の混在地を含む商業用途の地域. (7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由: 近隣地域は農地のなか自己利用を主とした店舗が散在する地域である. (8) 公示価格: 代表標準地 標準地, 標準化補正, 100. (9) 指定からの検討: 指定基準地番号 大町(県)5-1, 前年指定基準地の価格 21,100 円/m². (10) 対象標準地の前年の標準価格等の検討: 前年標準価格 19,800 円/m², 変動率 年間 -0.5%, 半年間 %.